

最終処分場 [被覆施設]

熱回収（焼却）施設から発生する焼却灰や 破碎選別施設から出る不燃物等を安全に埋め立てます。
被覆施設（屋根・壁）で覆われた最終処分場により、適正な埋立管理を行います。

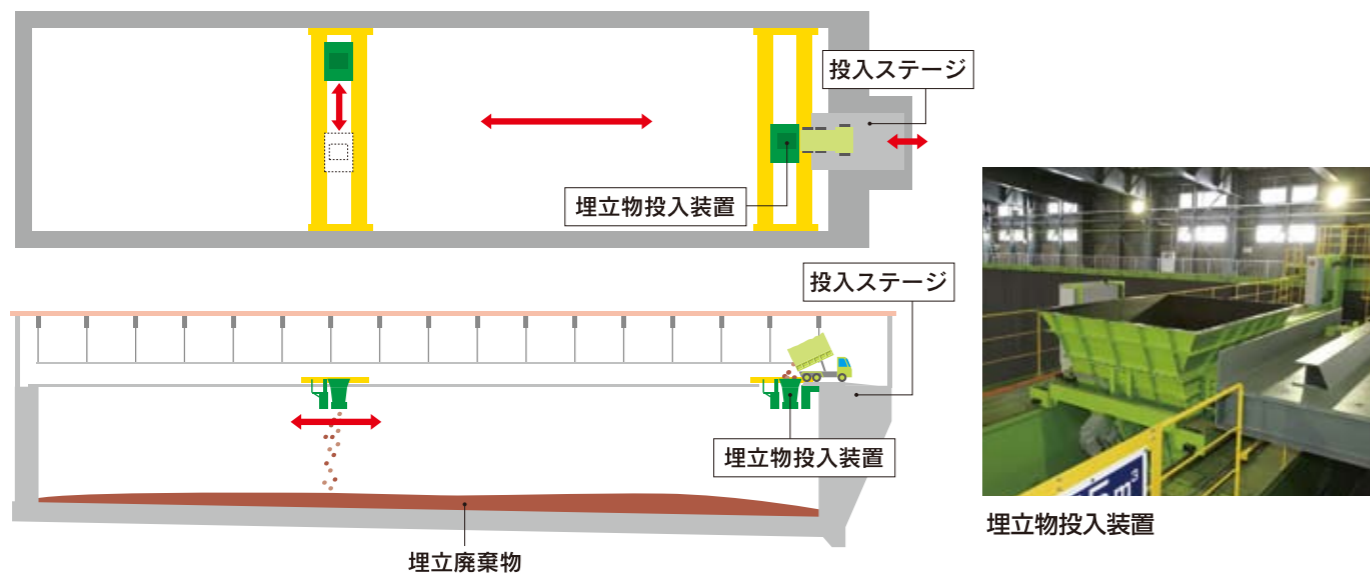


最終処分場の特徴

- 被覆構造物（建築物）により、埋立廃棄物の飛散・流出や臭気の拡散を防ぐことができます。
- 降雨・降雪・風などの影響を受けないため、計画的な埋立管理が可能です。
- 埋立物投入装置の採用により、埋立作業の効率化、安全性及び作業環境の大幅な向上を実現しました。
- 埋立廃棄物は厚さ2m以上の鉄筋コンクリート造のよう壁で囲まれているため、安全な保管・貯蔵が可能です。
- 計画的な散水を行うことにより、埋立廃棄物の洗い出しと安定化を促進できます。
- 遮水工は、二重遮水シート（底面部）により、浸出水（汚水）の漏水を防ぎます。

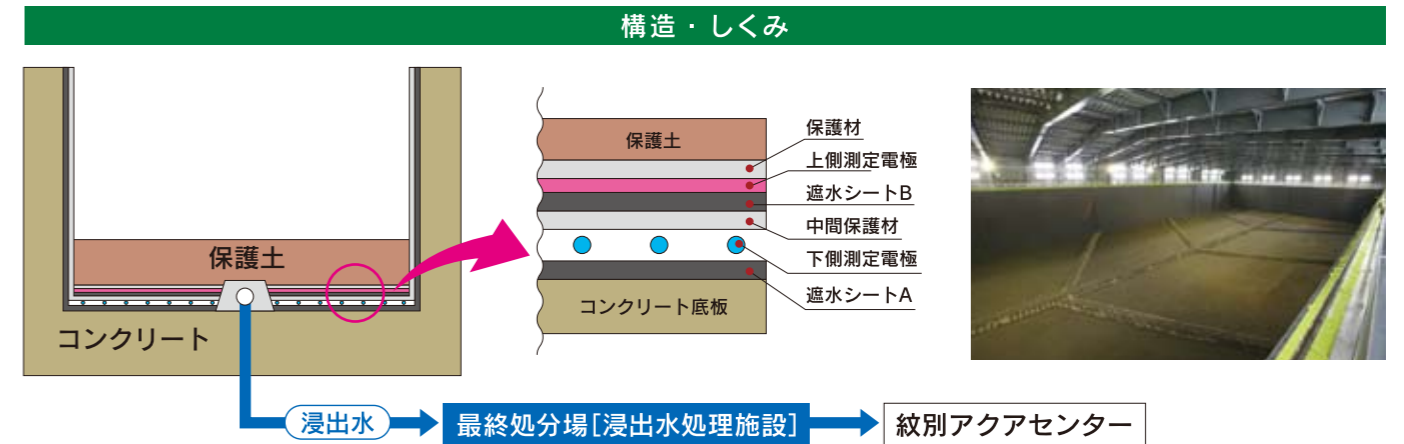
埋立物投入装置

廃棄物の埋め立てに、埋立物投入装置を使用することにより、従来のようにトラックが埋立地内を走行する必要がなくなりました。これにより埋立作業の効率化と粉じんの影響をなくし、埋立作業環境を向上しました。



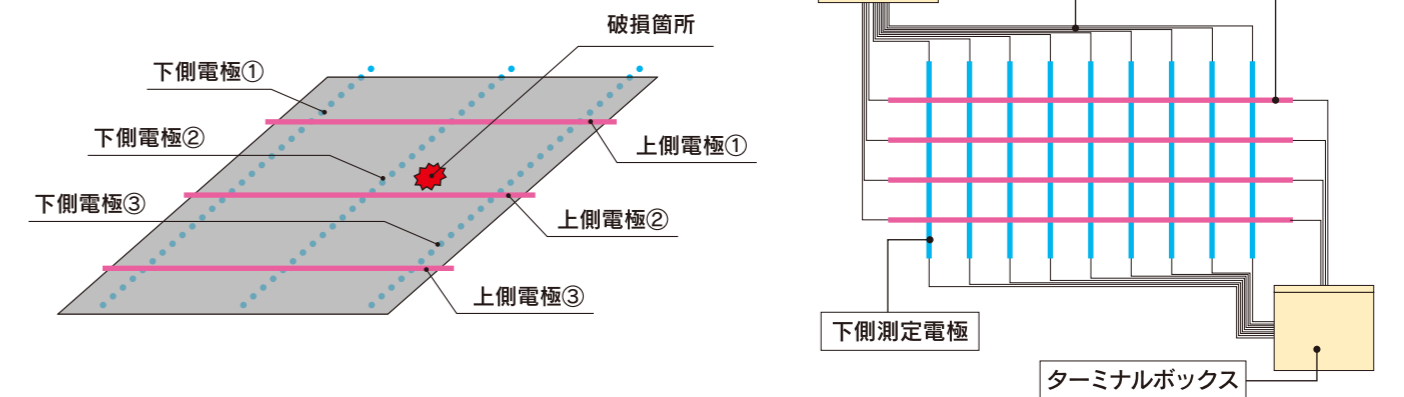
遮水工

埋立地底面部の二重遮水シートと、壁面部の遮水シートの遮水構造により、浸出水（汚水）の外部環境への流出を防ぎます。



漏水検知システム

遮水シートの破損を検知するため、電気的漏水検知システムを設置しています。このシステムは、遮水シートの上下に銅製の電線を設置して電流を流すことにより、遮水シートの破損の有無を監視します。万一、遮水シートが破損して浸出水が漏水した場合、漏水を介して電流が流れるため、遮水シートの破損位置をすぐに特定でき、迅速な対策が可能です。



散水設備

散水量を管理することにより、埋立廃棄物の計画的な早期安定化（廃棄物の洗い出し）を実現します。また、粉じんの防止や浸出水（汚水）の水量管理など様々な役割を担っています。

